



高原水車友の会通信（第12号）

高原水車

高原水車友の会 第6回総会（お知らせ）

日時 2019年5月18日（土） 午後1時～4時
 会場 農協林支店二階広間会議室（水車から徒歩5分）
 議題 活動報告 友の会会員から
 会計報告 監査報告
 今後の活動計画（水車の維持と活用について）
 特別報告（予定）
 「高原水車復元の今後＆一水車大工展を振り返って」
 野瀬秀拓氏（水車大工棟梁・福岡県久留米市）
 「ブータン王国滞在記」 緒方正則氏
 ♪♪♪—閉会後水車場にて見学と親睦会—♪♪♪

◆第6回総会を開きます。
 ご参加お願いします◆
 会場で会費の集金もさせていただきます。

高原水車友の会
 高松市六条町672
 高原水車場



題字 森佐知子
 カット平田真咲



*古いかまどを修理している「友の会」の高見さんと香川さんのお二人。水車場で生活していた高原家が昭和36年まで使っていた

■ 高原水車友の会第6回総会お知らせ	… 1
■ かまどの修繕	… 1
■ 屋根瓦と軒先の修繕	… 2
■ 林小学校3年生の水車見学	… 2
■ 愛媛県内子町石畳地区から見学	… 4
■ なつかしい人たちの訪問	… 4
■ まちづくり賞会誌「建築士」掲載文	… 5
■ 竹中大工道具館「水車大工展」	… 6
■ 古川雑木林の伐採	… 6
■ 活動いろいろ	… 7
■ 三木町池戸郷土資料館訪問	… 8
■ 2019年冬春活動記録	… 8
★かまどの修繕 2018年9月	… 8



屋根瓦と軒先の修理

(2018年12月)

丸瓦で葺かれた長屋の屋根や藁葺き屋根の庇が傷み、雨漏りがしていた。請川窯業さんの丁寧な工事で、昔の姿が蘇った。

庇の裏側は、元の通り竹と藁を組み合わせて復元してもらった。寒中、職人さんが、稻藁を丁寧に丁寧に準備していた。

瓦降ろし・選別洗浄・垂木取替・化粧野地板・瓦再施工の工程。
瓦に「池田邑喜代次」の刻印。



林小学校3年生の水車見学会

今年も3年生5クラス166名の生徒さんが地域学習のために水車を訪問して熱心に見学してくれました。



すてきな感想文が
たくさん届きました。



林小学校3年生のみなさん

感想文をありがとうございます

みなさんのことばにはげまして
います。少し紹介させていただきます。

今日は寒い中、水車のこと
や石うすのことなどてい
ないにおしえてください
ありがとうございました。

水車はどんな物か分かり
ました。とても勉強になり
ました。

高原水車に見学にいってむ
かしの道具が何か分かって
べん強になりました。高原水
車を林の町のたからものに
していきたいです。

水車が4.8mもあったた
なんてと思い、ぼくはび
つくりしました。水車に
は2しゅるいの水車があ
ることがわかりました。

今は、もう一人しかせんもんの大
工さんがいないことがわかりま
した。水車の重さが800kg
1tあってびっくりしました。
水車が、はば60cm直径4.8
mで、すごくびっくりしました。
わたしたちも林の町の宝物の高
原水車を守つていきたいです。
ありがとうございました。

古い道具、石うすをくわしく教えてく
ださいありがとうございました。高
原水車の图形を説明するとき、クイ
ズにあてられて分からなかつたと
きやさしくヒントをくれたので分
かりました。石うすで小麦をひいて
いるところは今まで見たことがな
かったので、実さいに見れて本当に
うれしかつたです。

石うすですりつぶして皮をのけた
こなはすぐふわふわだったので
すごいなとビックリしました。水車
はすぐ大きくてどはぐりよくでビ
ックリしました。やく4.8メート
ルと聞いて、それと横は、やく65
センチと聞いてすぐビックリしま
した。

【事前にいただいた小学生の質問】

1. 水車をどのように直したのか。
2. 水車を直すのにかかった時間
3. 水車を直すのにかかった費用
4. 全国でどのくらい水車大工さんがいるのか（香川県にいるのか）
5. 水車を直すのに何人くらいの大工さんが関わっているのか。
6. 香川県に水車が348基もあったのに、なぜ高原水車ひとつしか残っていないのか。
7. 水車は一日に何回くらい回ることができるのか。（どのくらいの速さで回るか）
8. 高原水車が林町にできた理由
9. 高原水車で働く人の願い
10. 家の中に水車があるのはなぜか。
11. 水の流れる量はどのくらいか。（1分当たりの水量）
12. 昔、高原水車で働いていた人の人数
13. 一日にどれくらい製粉できるか
14. 水車は何代目か（何回直したか）
15. 高原水車にある道具一番古い道具は何
16. 水車を作るのにどのくらい部品があるのか。
17. 一番大きな部品は何か
18. なぜ「水車」というのか
19. 外国の人はどう見くるのか
20. 働いている人の人数は何人か

池森寛先生や野瀬大工さんのご協力を得て
水車友の会で説明しました。

2019年2月23日
愛媛県内子町石畠地区から見学と交流



昭和 62 (1987 年) 「石畠を思う会」結成以来先進的な「村並み保存運動」を続けてこられた内子町石畠自治会の方たちが、大型バスで高原水車を訪問。石畠地区では山間の地区に 3 つの水車小屋を復元し、平成 4 年 (1992 年) 第 1 回水車まつり以来毎年 11 月 3 日に祭りを開催している。また農村体験宿泊施設「石畠の宿」をオープンし、照葉樹の植栽など周辺整備を続け、ホタル学習会・自然観察会をおこない、環境施策・近自然河川工法を学びにスイスへも研修に行くなど積極的な活動を続けている。「石畠地元学ーあるもの探し」を実践しながら、みんなでメンテナンスをおこない、「加工部」を発足させ蕎麦づくり販売など活動を広げ、ついに「美の里石畠地区・村並み保存活動」が、ユネスコの「プロジェクト未来遺産 2015」に登録された。学び尽くせないほどの地域づくりの歴史を持った人たちだと思った。(平田)



恩師に縁のある方たちが訪問



なつかしい人たちの訪問
高松高校 39 会同窓会
2019 年 3 月 30 日

まちづくり賞受賞

(日本建築士会連合会選考)

まちづくり賞

■■■ 讃岐六条の水車復活と地域文化の発信

■■■ 香川県高松市 高原水車友の会
久保勇人・平田恵美

■■■ まちづくり賞受賞者

■■■ 古い水車の解体と新造

■■■ 建築の家となるために

■■■ 「まちづくり」

事業名「讃岐六条の水車復活と地域文化の発信」
受賞団体 香川県高松市 高原水車友の会
発表者・久保勇人（香川県建築士会） 平田恵美（高原水車友の会代表）
雑誌「建築士」2019年3月号に掲載

水車復活への道のり

かつて香川県内には300基以上の水車があり、昭和20年前後を境にほとんど姿を消していった。讃岐平野の中央、高松市六条町に100年以上の稼働の歴史を持ち、昔の姿で残っていた高原水車（たかはらすいしゃ）の精米製粉工場が四国でも最後の一つではないかとの評価に、所有者が保存を決意し、近所の建築士や博物館に協力を求めた。

2011年から3年間、瀬戸内海歴史民俗資料館の調査が入り、その成果は国の「登録有形民俗文化財」として実を結んだ。その後201

4年から、近隣の住民や所有者の友人たちを中心、「高原水車友の会」が発足し、伝統技術の詰まつた木造水車を保存する活動が始まった。水車の復元には、専門の水車大工の参加が不可欠で、福岡県久留米市から水車大工を招き、現存する水車の計測、図面作成、新しい材料（木材）の調達、新しい部材の作製にとり組んだ。その過程で、水の少ない讃岐平野の水車の独特な技術が浮かび上がってきた。一方江戸時代以来経年劣化の進んだ水車場の建物の修復には、建築士仲間を中心に大工の協力で図面作成、修理作業が進められた。さらに水車水路の石垣積み直しや屋根瓦修繕も建築士のネットワークで県内の石材業者や屋根師の参加協力を得て調査を行なながら丁寧に工事が進められた。

古い水車の解体と新造

調査開始から7年目に古い水車の解体（2010年12月）と新しい水車の組立（2018年2月）が実現した。昭和42年（1967）に作られた古い水車はひどく傷んでいたが、木製の栓木を丁寧に抜いて解体し水輪のユニットやクモ手、からめを保管することができた。また動態保存に向けて新しい水車を製作し組み立て、元の位置に取り付けることができた。現在水路から流れ込む水を受けて水車は回り始めた。高松の地元の若手大工や木工職人、素人ながら30人近くの友の会のメンバーの協働作業には目を見張るものがあった。引き続き歯車・石臼など関連装置の復元作業や建物の修理が課題となっている。

地域の宝となるために

最初は、宣伝することもなく静かに活動していたが、今は、毎月の公開日には多くの見学者を迎えており、地区の小学生の地域学習、周辺地区の歴史探訪会、新聞やテレビなどメディアの取材など、にぎやかな水車場となっている。水車の音を聞きながら、お琴や民謡を楽しむ夕べも催すことができた。集いの場として様々な活用を考えたい。木造水車から見えるアナログな技術は自然との共存なしには考えられない。子供達には新鮮で、大人には懐かしい原風景を提供している。水車場の立地する周辺の地形と景観とともに保存することが大切である。

まだ水車に運動する装置は完成していないが、粉を碾くことができれば、仕事をする水車を見学体験してもらえる日も近い。市内には、水車はとっくに撤去したが、水路や石臼が残っている所もある。水車ネットワークを作ることにもチャレンジしてみたい。

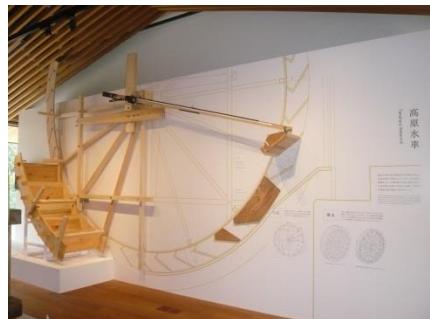
- まちづくり大賞 ・加賀のまちづくり（加賀まちづくり協議会東京都板橋区）
- まちづくり優秀賞 ・三春台の道に愛称をつける会 ・建築の学びで地域を笑顔に（宮津高校建築科）
- まちづくり賞 ・浦安旧漁村の住文化の継承 ・岐阜県建築士会「福祉まちづくり建築士」・まちを将来世代につなぐ集合住宅プロジェクト（神山つなぐ公社）・高原水車友の会 ・青山ビーチパーク



日本で唯一の大工道具の博物館です

企画展示「水車大工—水力エネルギーをデザインする」

公益財団法人竹中大工道具館（最寄駅 新幹線新神戸駅）1Fにて 2019.3.30-5.12まで開催
地下2階にて高原水車の解体組立映像公開 野瀬建設協力



常設展の一部

歯車と石臼

高原水車の構造模型



古川雜木林の伐採

★2019年3月21日から数日間、高松市土地改良課の管理で始まった樹木の伐採作業。



（上）と（左）の写真は伐採前の景観。

昨年の台風で木が倒れ、旧古川雜木林の伐採が必要となつた。大切な樹木だが、旧高さを決めて伐ることになつた。

すっかり姿を変え
た旧古川沿い藪の
上で小屋を造つ木
の上での遊んだこと。
雑木林。かつては木



古川の自然堤防の役目を持つ雑木林だが、墓地への被害を避けるために必要な作業だった。高さ約5メートルに伐った。



蕎麦脱穀（上）
大師麦種蒔き（左）

種子協力 太田様
大師麦畑



活動いじり



2019年1月26日水車公開日 竹中大工道具館展覧会へ歯車搬出 たき火で暖をとる



昔の村のメインストリート



多度津の方から雛人形を御寄贈いただき、
水車場和室で雛祭り。



1月28日岡山方面からパン・うどん
など、粉の事業関係者が水車見学

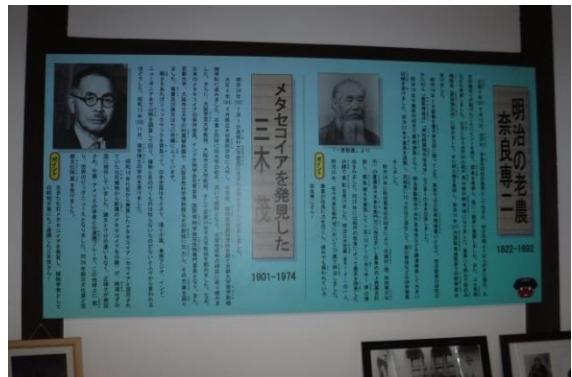


三木町池戸公民館訪問

3月13日

郷土資料展示室には昔の生活がわかりやすく常設展示されている。郷土史に詳しい千葉幸伸先生に説明していただいた。

大正時代の洋風建築「旧木田郡役所建物」が公民館として保存されている。



2019年冬春 活動報告(概略)

2018年

12/19

- ・林小学校3年生5クラス166名が水車見学
- ・友の会で大師麦(モチ麦)を播種
- ・蕎麦の脱穀収穫

2019年

1/26

- ・竹中大工道具館へ水車歴史搬出

1/28

- ・岡山からパン・うどんなど粉関係業者の方々が水車見学交流

2/23

- ・愛媛県内子石農地区自治会33名

3/13

- ・三木町池戸公民館郷土資料館見学

3/20

- ・竹中大工道具館へ水車ユニット搬出

3/30

- ・香川県社会福祉協議会11名見学

4/20

- ・高松高校39会(22名)水車場で同窓会

4/20

- ・竹中大工道具館で「水車大工」展示

4/20

- ・竹中大工道具館「水車大工」展示と講演会に参加(予定)

4/27

- ・多度津ボランティア団体「高見島さざえ隊」が見学・交流(予定)